

---

# ネズミの旅

ゲーフィ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ネズミの旅

### 【Nコード】

N5102A

### 【作者名】

グーフィー

### 【あらすじ】

ネズミがたびをすることになりました。そして……………

(前書き)

第四作品になります。

一生懸命つくりました。もしよろしかったら  
読んでみてくれませんか？

暗い暗い闇の奥。ほとんどの人が足を踏み入れない様な場所。

そこは、湿っていて、大量の糞があつて……。とにかくくいくろんな物であふれかえっている。

そして、そんな汚いところに、僕は住んでいる。大勢の仲間と共に「……。うーん……。よく寝たなあー」。さて、今日一日なにをしようかな。

僕はゆつくりと、腰を上げた。その時、急にものすごい爆音が聞こえてきた。

「さー……。いよいよこの時がやってまいりました。くじ引きで当たりを引いた

ネズミが一月分のみんなの食料をくすねてくるという、まさに、危険極まりなくくじ引きをする時間が、やって

まいりました……。さー……。今月は一体どんなねずみが、当たりを

引いてしまうのでしょうか。」

今月もまた、恐怖のくじ引きが、始まってしまつ。僕がここに来たときからいままでに、八回

このくじ引きをしたことがある。

そのうち、三匹のネズミがここに戻ってこなかった。残りの五匹は、戻ってきたものの、余りの

危険さに、耳がなくなっていたり、尻尾がなくなっていたり、しまいは

なんらかの障害があつたりしていた。

そして今日、九匹目の犠牲者が決まるのだ。早速僕は、くじを引きに行った。

でも、僕が並べた場所は、最後から、二番目ぐらいだった。

僕がそこに並んだ時、一番最初に「さあ、あなたは餌をとりに行か

ずにするのか。・・・

・・・おめでとございます。あなたは行かなくてよかったみたいですねー！。

さて、次のネズミ。」

・・・  
そのあとも

ちやくちやくと、はずれが続き、ついに、僕の番になった。

ここまでではみんな当たりは引いていないんだ。ここで僕が当たるはずがないよな。

僕は恐る恐るくじを引いた。

結果は・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・な、な

んと、・・・当たってしまった。

「でました。ついにあたりがでましたぞー！。」

やってしまった。僕が当ててしまった・・・・・・・・つまり、僕の人生はもう終わったことには

かわりはない。

「さあ、早速あなたには、餌を取りにってもらいましょうかねー・・・・・・・・

さ、早く早く。」

こうして僕は、旅にでることになった。出口には、仲間のネズミがまるでゲーム

の主人公を送るかのようにならんでいた。

こんなことをされたら、もう後戻りができるはずもない。

僕は決心した。僕がやるしかないんだ。・・・・・・・・  
そして

僕は下水道を通って、どこかの草むらに到着した。そのとき・・・

・・・・・・・・  
・・・・・・・・ん？・・・・・・・・上からなにか落ちてくる。・・・

・・・・・・・・非難した方が

よさそうだ。

僕はそばにある草陰に隠れた。そして………ドス！

！！！！！！

何かが地面に落ちた。なんだろう……僕は慎重に落ちたものを見に行った。

………こ、これは……とても大きいチーズの固まりが僕の目の前に

落ちている。上を見上げると、体格のいい一人の人間がなにかを言っている。

「あ………やべえ。なんでこんな所でおとしちまったんだよ。」

もうだめだ、こんなもの客にだせない。」

そして、男は去っていった。

僕は興奮した。よし！これをもって帰れば。

そして、ぼくの短いたびは終わった。

仲間のもとへ戻ると、仲間は驚いた顔をしていた。

「オ………これは………はいですな………」

「………」

そのあと、僕はなにごともなく、静かに暮らしましたとき。

(後書き)

読んでくれてありがとうございます。  
感想を書いてもらえると、うれしいです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5102a/>

---

ネズミの旅

2011年10月3日06時20分発行